

## 5 施設の指定管理継続

# リリックおがわの運営に

# 議論集中!



小川町民会館（リリックおがわ）

指定管理者：（財）小川町文化協会



2年間で課題解決を!

今定例会では、小川町民会館、埼玉伝統工芸会館、小川町和紙体験学習センター、小川町仙元山見晴らしの丘公園、八和田学童クラブの指定管理者の指定、平成23年度の各会計補正予算を中心に16議案の審議を行ない、すべて可決しました。なお、議員提出議案として意見書を可決しました。一般質問には9人の議員が登壇し、当面の諸問題と地域の要望・課題について町の見解をただし、政策提言を行ないました。

## 徹底審査

### 《主な質疑》

#### 町民の満足度は

問 平成24年度の委託料は4970万円で、2年の契約で1億円近くなるが、町民の満足度はあるのか。理解はされているのか。歌手のイベントの入場料5000円は、文化発信拠点として妥当だったのか。

答 町民の満足度には議論がありました。契約期間2年間の内部努力でどこまで変わるか、厳しい町財政の中でどれだけご理解いただけるか、発想の転換を求め議論し、指導していきます。

#### 平成24年度以降予算は減額します

問 平成24年度予算を増やすのか

減らすのか。

リリックおがわが主催するイベントの入場料が高いが、文化協会としての趣旨と矛盾するのでは。

答 年間委託料を減額し、契約期間も3年から2年にしました。昭和57年設立当初は、結婚式などで採算が合いましたが、時代の変化や施設の問題（座席数など）で採算がとれなくなってきました。

#### 町民の文化向上施設として理解されているのか!

問 経費を削減して文化向上、福祉の向上につなげられるのか。

答 リリックおがわ設立当初の目的に沿って、納税者の視点に立ち指導、運営しています。

#### リリックおがわは民間の力を

問 集客力の減少、赤字続き、イベントのチケットが売れない、そして経費削減。集客力アップを図る新しい戦略・計画はあるのか。実際に会館職員、理事がチケットを売り歩く努力が欠けていないか。民間事業者であれば、やり遂げると考えるが。

答 開業当初と比べて時代が変化

しています。文化施設なので赤字分は町からの委託料で見えています。今後減額しますが、従来のデータを参考にしながら、厳しい運営ですができると判断したので契約することになりました。会館の出入り業者から、苦情がきていることも承知しています。今回2年間の指定管理者として小川町文化協会に運営をお願いするわけですが、今後民間の力の導入がよいのか考えていきます。

### 小川町仙元山見晴らしの丘公園

指定管理者：日本環境クリアー（株）



### 埼玉伝統工芸会館

指定管理者：（財）埼玉伝統工芸協会



### 小川町和紙体験学習センター

指定管理者：埼玉県小川和紙工業協同組合



### 八和田学童クラブ

指定管理者：NPO法人 たすけあいほっとライフ小川



### すたむちゃんのひとロメ

指定管理者制度とは…公の施設の管理運営を株式会社、営利企業、財団法人、NPO法人、市民グループなど法人その他の団体に代行させる制度。